令和６年度　佐久間小学校　学校評価報告書

Ⅰ　令和６年度の取組

【徳】　互いに思いやり、認め合う子　「やさしく」	【知】　自ら学ぶ子　「かしこく」	【体】　粘り強くやり抜く子　「たくましく」
○豊かな心を育む ・自他を尊重する心の育成 ・郷土を愛する心の育成 ・命を大切にする心の育成	○確かな学力を育む ・基礎的・基本的な知識や技能の定着 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現 ・情報活用能力の育成　・言語能力の育成	○自ら道を切り開く力を育む ・健康と体力の向上 ・自己表現する機会の設定 ・児童が主体的に取り組める教育活動の工夫

Ⅱ　自己評価

○児童の評価（４点満点）

令和6年度　2学期　佐久間小学校学校評価（児童用）

番号	聞きたいこと	2学期平均	R6年度 1学期	評価２以下の人数
やさしく				
1	先生方は、がんばっていることをほめてくれたり、困ったときに助けてくれたりする。	3.9	4.0	0.0
2	わたしのクラスは楽しく、教室は安心できる場所である。	3.9	3.9	0.0
3	わたしは、元気のよいあいさつと返事ができている。	3.5	3.3	15.4
4	わたしは、友達にやさしくしたり、生き物や植物を大切にしたりしている。	3.9	4.0	0.0
5	おうちの人は、がんばっていることをほめてくれたり、困ったときに助けてくれたりする。	4.0	3.8	0.0
かしこく				
6	先生方は、勉強がよく分かるように教えてくれる。	4.0	4.0	0.0
7	先生方は「知りたい」「やってみたい」「できるようになりたい」と思うような授業をしてくれる。	4.0	3.7	0.0
8	わたしは、毎日、学年にふさわしい家庭学習に取り組んでいる。	3.5	3.5	7.7
9	わたしは、よく本を読んでいる。	3.2	2.9	15.4
10	わたしは、自分の考えを発表することができる。	3.2	3.6	23.1
11	わたしは、目と心と耳で聞き、やさしい話し方で自分の考えを友達に伝えることができる。	3.7	3.8	7.7
たくましく				
12	先生方は、命の大切さや社会のきまりを教えてくれる。	4.0	3.8	0.0
13	わたしは、健康・安全に気をつけて生活している。	3.9	3.8	0.0
14	わたしは、進んで運動に取り組んでいる。	3.5	3.5	7.7
その他				
15	学習や生活や友達のことなどについて、先生方に相談しやすい。	3.7	3.7	7.7
16	自分にはいいところがある。	3.5	3.2	7.7
17	わたしには、夢があり、チャレンジしていることがある。	3.8	3.8	0.0

１学期より0.2P「上がった」
１学期より0.2P「下がった」

○保護者の評価（４点満点）

令和６年度　２学期　佐久間小学校学校評価（保護者用）

番号	質問事項	２学期平均	R６年度 1学期	評価２以下の人数
やさしく				
1	学校は、児童一人一人を理解し、大切にしている。	3.8	3.7	
2	学校は、いじめのない学校、学級、集団作りに取り組んでいる。	3.9	3.5	
3	子供は、気持ちのよいあいさつと返事ができている。	3.6	3.5	
4	子供は、友達にやさしくしたり、生き物や植物を大切にしたりしている。	3.5	3.4	
かしこく				
5	学校は、基礎的な学力が身に付くような分かりやすい授業をしている。	3.6	3.5	
6	学校は、子供の興味や意欲を高める授業を工夫している。	3.7	3.5	
7	子供は、毎日、家庭学習に取り組んでいる。	3.3	3.6	1
8	子供は、読書に取り組んでいる。	2.8	2.7	4
9	子供は、自分の考えを発表することができる。	3.4	3.1	
たくましく				
10	学校は、子供に生命を大切にする心や、社会のルールを守る態度を教えている。	3.8	3.6	
11	学校は、子供の安全確保や健康管理のための取組を十分行っている。	3.7	3.5	
12	子供は、健康・安全に気をつけて生活している。	3.5	3.1	
13	子供は、進んで運動に取り組んでいる。	3.4	3.4	
その他				
14	学校は、三者面談や教育相談等がしやすい。	3.8	3.8	
15	学校は、家庭・地域と積極的に連携・協力している。	3.7	3.6	
16	学校は、便りやホームページ、その他の方法で情報をよく発信している。	3.7	3.6	
17	私は、我が子が頑張ったとき、認めたり、ほめたりしている。	3.6	3.5	

１学期より0.2P「上がった」
１学期より0.2P「下がった」

○職員の評価と今後の課題

・年度当初より、自信をもって発表したり感想を述べたりできる子が増えた。しかし、自分の思いを根拠を含めて表現したり説明したりする力は、もっと身につけさせたいと思う。
・子供たちは、性格も優しく、常に周りの友達のことを考えながら生活している。困っている友達を助けてあげる優しさをいろいろな場面で感じる。
・安全面、健康面に関しては、一人ひとり気を付けていると思う。欠席や遅刻・早退が少ないのはその表れであると思う。大勢の前で表現する力も付けてきている。もう一押しである。
・保護者や地域の方との連携はとてもよくとれていると思う。日頃からみなさんの声に耳を傾け、丁寧な対応を心掛けている成果であると感じる。思いやりのある子が多く、困った友達の手助けができる。

Ⅲ　学校運営協議会による学校関係者評価
＋学校いじめ防止基本方針

・統合した佐久間小の子供たち、浦川小の子供たちを優しく受け入れているように思います。みんな優しい心をもっているようです。
・地域との交流事業について素晴らしい事業だと思いました。今後も続けていただきたいと思います。
・浦川小との統合を控え、大変なことと拝察します。子供、保護者、さらに地域の皆様に不安を与えることなく、理解していただくよう取り組んでください。
・年度当初に提案された佐久間小いじめ基本方針にのっとり、子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう、学校全体で取り組んでいることが分かった。先生方が子供一人一人を大事に教育をしていただいていることに感謝します。

Ⅳ　今後の改善方策

・今年度の学校教育目標「やさしく　かしこく　たくましく」を受け、今年度は特に「たくましく」に重点を置いて活動してきた。教育活動を推進していく中で、どの子も、自分に合った目標の達成に向けて取り組む姿が見られ、活動後には、多くの子が達成感を得られた。
・友達との関わりの中で、時に競い合い、時に励まし合い、ともに切磋琢磨しながら成長する姿も見られた。そのような中で、学習や学校行事など、様々な活動の場面で異年齢の子供たちと関わることで、思いやりや助け合いの気持ちが伝わり、多くの子が誰に対しても「やさしく」関わる心が培われたと感じる。
・「たくましく」「やさしく」はもとより、自信をもって自分を表現したり、比較しながら考えを構築し、表現したりすることができるようにする力をもっと身につけさせたいと思う。
・職員は常に「いじめ防止基本方針」を念頭に未然防止にむけて指導に当たり、特に「はままついじめアンケート」や「生活アンケート」から、児童の表れをいち早く掴み、小さなことでもすぐに組織として動くことに努めた。次年度も、情報を速やかに全職員で共有し組織として対応していく。